

公開・非公開の別

☒ 公開 ☐ 部分公開  
☐ 非公開

## 令和 8 年度第 1 回浜松市母子保健推進会議 会議録

1 開催日時 令和 8 年 7 月 9 日（木） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分

2 開催場所 浜松市口腔保健医療センター 講座室

3 出席状況 委員

[現地参加] 石井 廣重委員、大西 雄一委員、鹿野 共暁委員、小谷 友美委員、  
齋藤 由美委員、杉浦 弘委員、田中 敏郎委員、本目 恵子委員、  
室加 千佳委員、森園 直美委員

事務局 小笠原 雅美（健康福祉部医療担当部長）、  
板倉 称（健康福祉部保健所長）、仲谷 美樹（健康増進課長）、  
落合 公信（感染症対策課長）、  
生田 望（健康増進課母子保健担当課長）、  
鈴木 由紀子（子育て支援課家庭支援担当課長）、  
伊藤 梓（健康福祉部専門監）、氏原 宏之（健康増進課長補佐）、  
田辺 雷太（感染症対策課長補佐）、  
健康増進課職員 5 名、子育て支援課職員 1 名、  
感染症対策課職員 1 名

オブザーバー 精神保健福祉センター職員 1 名

4 傍聴者 1 人

5 議事内容

- (1) 令和 7 年度 浜松市母子保健事業 事業実績報告
- (2) 令和 7 年度 浜松市児童福祉事業 事業実績報告
- (3) 産科・精神科・行政等の連携
- (4) 5 歳児健康診査事業について
- (5) HPV ワクチン接種事業について
- (6) RS ウイルスワクチン接種事業について

6 会議録作成者 健康増進課母子グループ 菅沼

- 7 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 ☒・無

## 8 会議記録

定刻の午後1時30分に開会し、事務局から資料の確認、委員の出席数の報告、情報公開の確認、報道機関の取材と傍聴者の了承、委員改選の報告、精神保健福祉センター職員1名（オブザーバー参加）の紹介を行った。

### （1） 令和7年度 浜松市母子保健事業 事業実績報告

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】年々減少傾向にあった妊娠届出数や出生数が令和7年度は微増となっています。こちらは偶然か、何か効果のある対策があったのか、教えていただきたいと思います。

【事務局】ありがとうございます。2ページ目にあります通り、年間約300人ずつ減っておりまして妊娠届出数は、令和7年度には前年度から60件増加しております。現時点において、妊娠届出数の減少傾向が止まった、もしくはこれから増加していくのかは、令和8年度以降の状況を踏まえる必要があると考えております。少子化対策としましては母子保健事業においてもプレコンセプションケアや思春期教室等、先生方にご協力いただいておりますが、浜松市としての大きな課題だと思っております。少子化に関わる他部署も知恵を挙げて様々な事業を行っているところでございます。母子保健事業としては、現在取り組んでいる事業等の周知啓発や令和8年度以降の数値を注視していきたいと考えているところでございます。

### （2） 令和7年度 浜松市児童福祉事業 事業実績報告

【事務局】子育て支援課より、資料をもとに説明。

【委員】委員の皆様のご意見が特にないようですので、次の議題に移ります。

### （3） 産科・精神科・行政等の連携

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】浜松市内では妊産婦の方の自殺や自殺未遂は0件でよろしいでしょうか。

【オブザーバー】おっしゃる通りです。

### （4） 5歳児健康診査事業について

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】5歳児健診について、ここ数年間で丁寧に整えられて頂いて本当にありがたいことだなと思って見ております。小児の学会等で問題に上がっていたことは、臨床心理士が継続して見てくれないという点です。実際に事業を実施していく中で、今後事業を継続する上での課題を教えてくださいたいと思います。

【事務局】ご質問ありがとうございます。来年度悉皆実施となりますので、全ての 5 歳になるお子さんが 5 歳児健診を受けられるような体制を整えていくことが最大の課題となります。先程臨床心理士さんのお話がありましたが、今後マンパワーがより必要になってくると思います。限りある人材でどうやって進めていくかというところが本当に大きな課題となりますので、巡回事業所さんや実施園さんを始めとした関係機関の皆様や現場の先生方等にもご意見いただきながら、悉皆実施をどの形であれば実施できるのかご相談させて頂きながら進めてまいりたいと考えております。

【委員】ありがとうございます。今おっしゃられていたように、マンパワー不足がどの地域でも課題になると思います。こちらも何か情報がありましたらお伝えしたいと思いますし、5 歳児健診が継続できるように今後とも支援していただければと思います。

【事務局】ご意見ありがとうございます。

【委員】5 歳児健診の目的はお子さんが安心して就学を迎えられるよう切れ目のない支援をしていくこととなります。5 歳児健診が進んでいることはとても良いことですが、最終的にお子さんの情報についてデジタルを活用してどのように連携していくかに課題があると思います。現在は組織毎で情報が切れてしまっているのではないのでしょうか。デジタルを活用した問診はできていますが、予算をつけていただいてデジタルを活用した情報の連携をしていけると 1 人のお子さんを切れ目なく支援していけると思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

【事務局】ご意見ありがとうございます。デジタルを活用したアプリの構築を段階的实施と並行しながら行っております。庁内の関係機関とも情報共有しながらできる範囲で進めてまいりたいと思いますので、ご指導の方よろしく願いいたします。

【委員】医療福祉機関までの連携ができて、学校の先生等の教育機関への連携がうまくいっていないということが色々な地域で話題になっております。5 歳児健診の情報を学校の先生にどういった形で共有されていくのでしょうか。

【事務局】ご質問ありがとうございます。学校との連携につきましては、5 歳児健診の保護者問診や保育者問診、その後の事後指導の内容等について、デジタルの中で学校の方に情報提供をするような形になっております。また、デジタルだけではなく、顔の見える幼小との引継ぎといったところが課題となっております。こちらから 5 歳児健診の情報は学校に提供させていただきますが、その後の学校での活用といったところが未整備でございますので、今後連携しながら対応していきたいと思っております。

【委員】学校の先生からどうやってその情報を活用して関わっていけばいいのかというところで困っていると耳にしますので引き続きご検討の程よろしく願いいたします。

#### (5) HPVワクチン接種事業について

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】実際接種に来るお子さんは市から送られてくるパンフレット等に全く目を通していない方がほとんどです。それからご紹介のあったイベントで案内される、イベントに参加される方は

対象者のごく一部になりますので、残念ながらお子さんにこのワクチンが伝わっていないということが現状だと思います。浜松市として、国として進めている事業ですので、学校でプリント等何らかの案内を送られるような機会がこの思春期教室以外でもあると親子でワクチンのことを話す機会が増えるんじゃないかなと思います。引き続き教育委員会等ともご相談いただいて何とか実現の方向へ向かっていただけたらと思います。

【事務局】ありがとうございます。引き続き教育委員会の方にも働き掛けをして、学校を通して周知啓発等を行う方法について検討していきたいと思います。

【委員】この事業で大事なことは母親への啓蒙だと思います。思春期教室もその一つとしてよい機会となりますので母親に参加させることを推奨しています。親世代の方々への啓蒙についてもお考え頂ければと思います。

【事務局】ありがとうございました。検討させていただきます。

【委員】他市の動きとして富士宮市はWEB予約を取り入れて接種率が上がったそうです。意識改革も必要ですが、土日接種やWEB予約等の簡便性についても必要なことではないかと思います。一度市民の方のニーズといったところもアンケート等で調査していただければと思います。

#### (6) RSウイルスワクチン接種事業について

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】浜松市内で、内科で接種をされている施設はどのぐらいありますか。

【事務局】病院の診療科毎の割合までは精査できておりませんが、内科、産婦人科等を含めて市内で大体 140 医療機関程がこのRSワクチンの接種について手を挙げていただいております。

【委員】ありがとうございます。高齢者の接種用のアレックスビー筋注を妊婦さんに接種してしまった事例がありました。産婦人科医は高齢者向けのワクチンを置いてないのでそういった間違いは起きません。産婦人科の学会からは注意喚起の連絡がきておりますが、内科の先生方へはどのように情報が共有されるのでしょうか。

【事務局】ありがとうございます。間違って高齢者への接種に使用するワクチンを妊婦の方に接種してしまった事例については、国から通知が出ておりますので医師会ウィークリー等の場にて勧奨させていただきたいと思います。

#### (9) その他

【委員】全体を通してご意見がありましたらお願いいたします。

【委員】3歳児歯科健診は、新型コロナの前まで集団健診で実施しており受診率が低かったですが、現在は各診療所での個別健診が好影響となっているのか、受診率が上がっておりありがたいと思っています。ただし、もっと受診率を上げていければと考えておりますので、引き続きよろしくお願い致します。また、毎年出生数が減少している点について、会議資料では2~3年のデータしかありませんので、定期的に数年分をグラフ化して頂けると実感を持てると思います。行政の方は大変かもしれませんが、重要なことであると思いますのでご検討ください。

【委員】前回妊娠糖尿病の件で薬剤師も関わらせてほしいと発言をしたところ、早速研修会に呼んで頂きましたが、残念ながら台風で中止となってしまいました。今後薬剤師も薬に関わってくることではないこともあると思いますが、気軽に相談できる薬局、薬剤師として色々な知識を共有していきたいと思いますので引き続きよろしくお願い致します。5歳児健診についてもマンパワー不足といったお話がありましたので、薬剤師で少しでも手助けできることがありましたらお声掛けいただきたいなと思いました。また、昨今は電子版おくすり手帳や電子処方箋、マイナンバーカードを用いた受診等ICT化が進んでいます。電子版母子健康手帳も耳にしました。デジタル化していくためのツールを入れていくこともご検討いただければと思います。

【委員】お産の保険診療化が2年以内に施行と大きな変化があると思います。これをどう助成していくのかについて、浜松市としてどういう準備をしていくのか少しお聞かせいただければと思います。

【事務局】ありがとうございます。ご質問頂いた保険診療化に向けた準備については、今後の状況等を確認しながら、浜松市として検討してまいりたいと思います。

【委員】お産の保険診療化についてですが、まだ具体的に金額やどの範囲が保険診療となるか等決まっていないと思います。保険診療化にすることでお産が減るもしくは増えるということに直結するかという点と難しいのではないかと思います。根本的な対策はそこではないと思っています。

【委員】保険診療化については、医会の方にも情報提供があると思いますので、行政の方とも共有させていただきたいと思います。よろしくお願い致します。

【委員】多くの事業によってたくさんの母子が支援を受けていることがよくわかります。少子化の中で一つ一つ丁寧に事業を実施されていると感じます。一方で5歳児健診をしっかりと実施していかないと質の高い支援が最後の最後で続かなくなってしまうと思います。浜松市は政令指定都市ですので、他の自治体に比べると悉皆になった際の対象者も多く、マンパワーも大変だと思いますが一緒に作りあげていけたらと思っています。

【委員】全体的な出生数は減っていますが、手をかけないといけない支援が必要な方たちの割合は増えています。また、妊婦の歯科健診について、受診券は未使用のため母子健康手帳の歯科健診の欄が未記載の方に対して、面談時にお伺いすると定期的に受診していると言われる妊婦さんが最近増えたように思います。個人的にですが、歯科健診のページに記載してもらえればいいのと思っています。歯科医師の皆様で妊婦さんが受診している場合に母子健康手帳への記載をして頂けると、受診券は未使用でも健診は受けた証明になると思いますのでご検討頂ければと思います。ワクチンについては、赤ちゃん訪問に伺った際にこれから受けるワクチンのことを一通り全部お話ししています。学校に入ってからワクチンは、対象学年になると学校から必ずお知らせが来ることもお伝えしています。また、このワクチンは小児科だけではなく産婦人科でも受けることができるとお伝えすると驚く方もいらっしゃるようで、子どもの関係は全部小児科じゃないといけないと思っている方が多くいらっしゃる印象です。今までかかっている小児科の先生だけではなく母親と一緒に婦人科デビューをすることで、今後の思春期の生理の相談も含め婦人科の敷居は高くないことを見せることもご提案しております。実際にこのワクチンが本当に大丈夫か

と聞かれることも多くありますが、ネット社会での否定的な情報ばかりが出てきてしまうこともありますので、振り回されずに正しい情報を得ることが大事だと実感しています。

【委員】社会的なハイリスクの妊婦をいっぱい抱えている我々としては行政の皆様にはいつもお世話になっております。本当によく支援していただいていると思っております。ありがとうございます。HPVワクチンについては、産婦人科でも接種はできますが、小学校高学年で接種する小児科でのワクチンの延長として小児科でぜひ推奨していただく流れをぜひ作っていただけると接種率はもっと上がるのではと常々思っております。小児科の先生にとっては話にくい部分かもしれませんが、定期接種ですのでぜひ取り組んでいただければと思います。RSワクチンに関しては、私の感覚になりますが8~9割の方は接種しているのではないかと思います。公費接種で3万円程度自己負担が発生していたものが公費負担となりましたので、拒否する方は少ないと思います。一気に接種率が増えることで将来的に乳児のRSウイルスの感染率が低下することを期待しております。最後に5歳児健診について、保護者に同意が得られたらという点に関して、段階的实施であることが関係しているかもしれませんが、同意しなかった方の中にこそハイリスクの幼児が隠れている可能性があるのではと思います。同意を得られる、得られないではなく、全員が5歳児健診に係ることができる仕組みにしていくことが、難しいと思いますけれど、ぜひ頑張ってくださいなと思っております。

【委員】それでは事務局より連絡事項がありましたお願いいたします。

#### (8) 事務局より連絡事項

【事務局】1点連絡事項を申し上げます。令和8年度第2回の会議の開催につきましては、令和9年2月18日(木)13時から14時30分でオンライン開催を予定しております。例年より30分早い開始となり、大変恐縮ではございますが、委員の皆様には改めてご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。以上となります。